

令和6年7月10日
糸魚川農業普及指導センター

1 7月10日現在のコシヒカリの生育状況（指標値との比較）

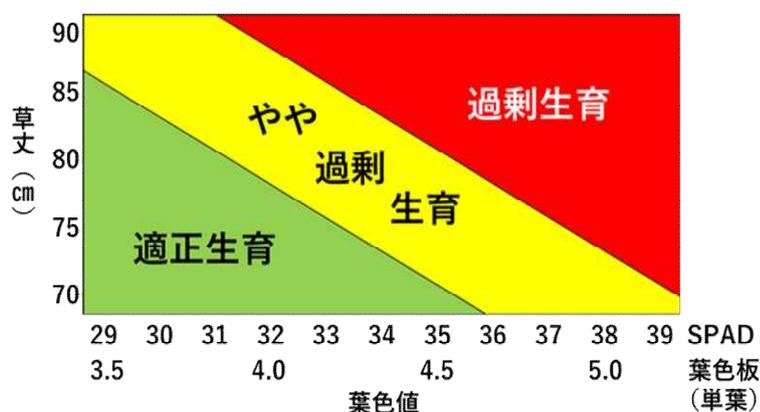
田植日・調査ほ場	草丈	茎数	葉数	葉色
田植日 5月3～21日 東海、西川原、東中、榎	並	やや少～並	やや早	やや淡～並

- 降雨と高めの気温により草丈は伸長しましたが、指標値に対しては並となっています。
- 生育にはほ場間差があり、ほ場によっては葉色がかなり淡くなっています。
- 現時点では、平坦地の5月10日頃の田植えのコシヒカリの出穂期は7月31日頃と予想されます。

2 今後の管理について

- コシヒカリは幼穂形成期を迎えました。1回目の穂肥は幼穂の長さを確認して時期を判断し、遅れずに施用しましょう。

コシヒカリ1回目穂肥時期のめやす：出穂18日前（幼穂長1cm）
（茎数が少ない、特に葉色が淡いほ場では出穂20日前頃に早める）



< 1回目の穂肥のめやす >

生育区分	施用時期	施用窒素量
適正生育	出穂18日前	1 kg/10a
やや過剰生育	出穂15日前	
過剰生育	1回目施用しない	

（施用時に特に葉色が淡い場合は1.5kg/10a）

図 幼穂形成期頃の生育状況判断の目安

- 元肥ロング肥料でも、既に葉色がかなり低下している場合は追肥を検討しましょう。
- 穂肥は浅水状態で施用しましょう。また、施用後は飽水管理を継続し、葉色の低下を防ぎましょう。

3 7月10日のコシヒカリ生育調査結果

調査項目		ほ場場所 (田植日)	指標値 ※	東海 (5月3日)	西川原 (5月15日)	東中 (5月22日)	榎 (5月12日)
草丈	本年値 (cm)		69	70	66	66	68
	平年比 (%)			104	105	109	109
	指標比 (%)			101	96	96	99
茎数	茎数 (本/m ²) (一株当たり(本))		460	416 (26.3)	532 (27.7)	426 (23.0)	380 (20.1)
	平年比 (%)			81	120	81	82
	指標比 (%)			90	116	93	83
葉数	本年値 (葉)		11.0	11.8	11.7	10.9	11.4
	平年差 (葉)			+0.4	+0.4	+0.2	+0.6
	指標差 (葉)			+0.8	+0.7	-0.1	+0.4
葉色	本年値 (SPAD値)		35.5	28.7	37.2	39.9	34.4
	平年差 (SPAD値)			-4.6	+2.9	+2.5	-1.7
	指標差 (SPAD値)			-6.8	+1.7	+4.4	-1.1

※指標比・差とは、目標とする理想的な生育値（指標値）に対する現在の生育値の割合・差
 次回の情報提供は7月18日頃の予定です。